

岩美町男女共同参画に関する町民意識調査

※ ご協力をお願い ※

町民の皆様には、日頃から町政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

町では、「いわみ虹色プランー岩美町男女共同参画計画ー」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて、様々な取り組みを行っています。この調査は、次期プラン（令和8年度～令和12年度）策定の基礎資料とするため、18歳以上の町民の皆様の中から無作為に1,500人を抽出し、ご意見をお伺いするものです。お寄せいただきました回答は、すべて統計的に処理し、内容は調査目的以外には使用いたしません。

また、個人が特定されることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年10月
岩美町長 長戸 清

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査の回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。事情によりご本人による回答が難しい場合は、ご家族の方などが回答を聞き取るなどして代わりにご記入またはご入力いただくことが可能でしたら代理をお願いします。代理が難しい場合は、岩美町教育委員会事務局人権同和対策係までお手数ですがご連絡ください。
- 2 紙の調査票に回答される場合は、黒のボールペン、鉛筆などではっきりと記入してください。
- 3 回答は質問にしたがって、あてはまる番号に○またはチェックをつけてください。複数回答をお願いする設問もあります。また、「その他」を選んだ場合は、（ ）内にできる限り具体的な内容をお答えください。
- 4 この調査に出てくる「結婚」「配偶者」「夫婦」とは、婚姻関係にあるまたは事実婚（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にあること）を意味しています。
- 5 回答していただく方が限られる質問もありますので、回答後の案内や「ことわり書き」をよくお読みいただき、お答えください。
- 6 **回答期限** 令和6年10月31日（木）

【問い合わせ先】 この調査に関するご質問等は、下記までお問い合わせください。

岩美町教育委員会事務局 人権同和対策係

電話：0857-73-1302（※電話受付時間 平日8：30～17：15）

Eメール jinkendouwataisaku@iwami.gr.jp

ご回答方法について

下記のいずれかの方法を選んでご回答ください。【回答時間の目安は、10分程度です】

① インターネットによる回答

パソコンやスマートフォンを使って回答することができます。
パソコンから下記の URL を入力してアクセスしていただくか
スマートフォンで右の二次元コードを読み取ってください。
とっとり電子申請サービスの回答専用ページに移動します。



二次元コード

《URL》

https://apply.e-tumo.jp/town-iwami-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=12987

※インターネットでご回答いただいた場合は、紙の調査票に回答して提出する必要はありません。

② 郵送による回答

この調査票にご記入後、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、回答期限までに郵便ポストに投函してください。

また、この調査は無記名調査です。調査票及び返信用封筒に、お名前やご住所を記入していただく必要はありません。

男女平等に関する意識についておたずねします

問1 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、あなたの考えにいちばん近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている
① 学校教育	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 家庭生活	1	2	3	4	5
④ 町内会などの地域活動の場	1	2	3	4	5
⑤ 政治や行政の施策・方針決定の場	1	2	3	4	5
⑥ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
⑦ 社会通念・慣習やしきたりなど	1	2	3	4	5
⑧ 全体として	1	2	3	4	5

結婚や家庭生活についておたずねします

問2 結婚・家庭などについて、あなたのご意見をおたずねします。①～⑤の項目について、あなたの考えにいちばん近い番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

	賛 成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反 対	わからない
① 結婚は個人の自由であるから、結婚 してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
② 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき である	1	2	3	4	5
③ 結婚しても必ずしも子どもをもつ 必要はない	1	2	3	4	5
④ 結婚してもうまくいかなければ離 婚してもかまわない	1	2	3	4	5
⑤ 男性も女性もどちらも仕事と家庭 を両立できるとよい	1	2	3	4	5

問3 あなたが家事・育児・介護に携わる1日あたりの平均的な時間はどのくらいですか。①～③の項目について、平日・休日それぞれ0～7の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

①家事

	していない (0時間)	30分未満	30分～ 1時間	1～2時間	2～3時間	3～5時間	5～8時間	8時間 以上
平 日	0	1	2	3	4	5	6	7
休 日	0	1	2	3	4	5	6	7

②育児

	していない (0時間)	30分未満	30分～ 1時間	1～2時間	2～3時間	3～5時間	5～8時間	8時間 以上
平 日	0	1	2	3	4	5	6	7
休 日	0	1	2	3	4	5	6	7

③介護

	していない (0時間)	30分未満	30分～ 1時間	1～2時間	2～3時間	3～5時間	5～8時間	8時間 以上
平 日	0	1	2	3	4	5	6	7
休 日	0	1	2	3	4	5	6	7

問4 あなたのご家庭では、①～⑪の項目について、主に誰が担っていますか。1～8の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

仕事や働き方についておたずねします

問6 あなたの今の職業は何ですか。（出産や育児・介護のために休んでいる方は働いていると考えてください）1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

The diagram is a flowchart with two main paths. The left path starts with a box containing a list of five employment categories: 1. 正規雇用者（正社員や正職員）, 2. 非正規雇用者（パート、アルバイト、臨時、嘱託など）, 3. 自営業（農林漁業を除く）, 4. 農林漁業, and 5. その他の仕事（具体的に： ）. An arrow points from this box to a grey box labeled '問7へお進みください'. The right path starts with a box containing item 6: 6. 収入を伴う仕事をしていない（家事専業、無職、学生など）. An arrow points from this box to a grey box labeled '問10へお進みください'.

```
graph TD; A["1. 正規雇用者（正社員や正職員）  
2. 非正規雇用者（パート、アルバイト、臨時、嘱託など）  
3. 自営業（農林漁業を除く）  
4. 農林漁業  
5. その他の仕事（具体的に： ）"] --> B[問7へお進みください]; C["6. 収入を伴う仕事をしていない  
（家事専業、無職、学生など）"] --> D[問10へお進みください];
```

問7 あなたの職場では、育児や介護のための休業・休暇制度を気軽に取得することができますか。

1. できる **問9へお進みください** 2. できない **問8をお答えください**

問8 問7で「2. できない」と答えた方におたずねします。その理由について1～8の中から、あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

1. 職場にそのような制度がないから	2. 職場に休める雰囲気がないから
3. 自分の仕事には代わりの人がいないから	4. 周りに迷惑をかけるから
5. 休みをとると、昇任に影響するから	6. 一度休むと元の職場にはもどれないから
7. 経済的に成り立たなくなるから	8. その他（具体的に： ）

問9 問6で1～5番のいずれかを選択された方におたずねします。あなたの職場では、次の1～11にあてはまるような状況がありますか。あると感じる番号すべてに○をつけてください。

1. 希望職種につく機会に男女差がある	2. 昇任や昇格で男女差がある
3. 研修・訓練を受ける機会に男女差がある	4. 出張、海外勤務、転勤体制に男女差がある
5. 定年の年齢に男女差がある	6. 男女間で賃金・手当に差がある
7. 女性は補助的業務や雑務が多い	8. 男性は育児・介護の休暇や休業を取得しにくい
9. 女性は結婚や出産を機に退職する慣行や 雰囲気がある	10. ハラスメントを受けたときの相談・苦情の窓口 がない
11. その他（具体的に：	）

問１０ 全員の方におたずねします。女性が働くことについて、あなたの考えに最も近い番号１つに○をつけてください。

- １．女性は職業をもたないほうがよい
- ２．結婚するまでは職業をもち、結婚後はもたないほうがよい
- ３．子どもができるまでは職業をもち、子どもができたら、職業をもたないほうがよい
- ４．子どもができたら職業を一時やめて、子どもに手がからなくなったら再び職業をもつほうがよい
- ５．結婚しても、子どもができて職業はもち続けるほうがよい
- ６．その他（具体的に： _____）

問１１ 全員の方におたずねします。女性が活躍できる職場環境には、何が必要だと思いますか。１～９の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は２つまで）

- １．子育て・介護との両立に職場の支援制度が整っていること
- ２．上司や同僚が、女性が働くことに理解があること
- ３．長時間労働を抑制し、[※]勤務間インターバル制度を導入すること
- ４．仕事が適正に評価され、やりがいがあること
- ５．研修・教育訓練の機会が多くあること
- ６．職場のトップが女性活躍推進に積極的であること
- ７．身近に活躍しているロールモデル（仕事やキャリアを考えるうえで、考え方や行動が模範となる人物）がいること
- ８．病気になっても働き続けられる環境が整っていること
- ９．その他（具体的に： _____）

※勤務間インターバル制度…終業時刻から次の始業時刻の間に、一定時間以上の休息時間（インターバル時間）を設けることで、従業員の生活時間や睡眠時間を確保しようとするものです。

問１２ 全員の方におたずねします。男女がともにいきいきと働くために、岩美町がなすべきことは何だと思いますか。１～８の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は２つまで）

- １．男女の均等な雇用機会と待遇について、企業への周知徹底
- ２．企業へ労働時間の短縮や育児・介護のための休業制度の充実などの働きかけ
- ３．ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）やセクシュアル・ハラスメントなどの防止対策や対応
- ４．再就職のための講座・情報提供・能力開発などの支援
- ５．年齢・性別に関係なく、就労の機会を増やすための支援
- ６．介護支援サービスの充実
- ７．保育サービス・学童保育などの子育て支援の充実
- ８．その他（具体的に： _____）

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についておたずねします

＊ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは：「仕事」と家庭・育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動やボランティア活動といったあらゆる個人活動を含む「仕事以外の生活」との調和が取れ、その両方が充実していることです。

問１３ 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度についておたずねします。

１～８の中から、あなたの希望に最も近い番号１つに○をつけてください。なお、現在、仕事をしていない方もお答えください。

- １．「仕事」を優先したい
- ２．「家庭生活」を優先したい
- ３．「地域・個人の生活」を優先したい
- ４．「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- ５．「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ６．「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ７．「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- ８．わからない

問１４ それでは、１～８の中からあなたの現実（現状）に最も近い番号１つに○をつけてください。

- １．「仕事」を優先している
- ２．「家庭生活」を優先している
- ３．「地域・個人の生活」を優先している
- ４．「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- ５．「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- ６．「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- ７．「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- ８．わからない

問１５ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を図るために、１～９の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は３つまで）

- １．保育や介護を支援するサービスや施設など、社会的サポートの充実
- ２．育児・介護休業取得に対する職場の上司・同僚の理解浸透
- ３．職場の両立支援制度（在宅勤務や短時間勤務、育児休業・介護休暇、退職者の再雇用など）の充実
- ４．両立支援制度の利用促進
- ５．育児休業・介護休暇中の賃金その他の経済的支援などの充実
- ６．長時間勤務の見直し
- ７．家族や配偶者の理解と協力
- ８．個人の意識改革や努力
- ９．その他（具体的に：)

地域活動についておたずねします

問１６ ①～⑨の活動において、あなたの今の参加状況と今後の参加の意思についてそれぞれ選んで○をつけてください。

地域活動の内容	今の状況		今後の意思	
	参加している	参加していない	参加したい、または、参加し続けたい	参加したくない
① 町内会、自治会の活動	1	2	1	2
② 保護者会やＰＴＡの活動	1	2	1	2
③ 子ども会活動、少年少女スポーツの指導や世話	1	2	1	2
④ ＮＰＯ(非営利団体)やボランティア活動	1	2	1	2
⑤ 学習、趣味、スポーツ活動	1	2	1	2
⑥ リサイクル、消費者運動などの住民活動	1	2	1	2
⑦ 防災や消防団、防犯に関する活動	1	2	1	2
⑧ 各種審議会や委員会など政策決定に関わる活動	1	2	1	2
⑨ その他(具体的に：)	1	2	1	2

問１７ 問１６の活動に、今は「参加していない」現状でかつ今後も「参加したくない」を①～⑨の中で１つ以上選んだ方におたずねします。その理由について、１～１１の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．時間的余裕がない ３．どのような活動があるのかわからない ５．人間関係がわずらわしい ７．子どもや高齢者がいるのででかけにくい ９．経済的余裕がない １１．その他 （具体的に：	２．参加したい活動がない ４．参加方法がわからない、きっかけがない ６．家族の協力、理解が得られない ８．健康に不安がある １０．関心がない ）
--	---

問１８ 全員の方におたずねします。地域活動に参加しやすくするために必要なことは何だと思いませんか。１～１１の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は３つまで）

1. 活動に関する情報提供が充実していること
2. 活動に関する相談体制が充実していること
3. 団体や活動メニューが豊富にあること
4. 自分にあった内容が選べること
5. 自分のために自由に使える時間があること
6. 活動を始めるために体験や講習などのきっかけがあること
7. 必要な場所・施設が身近にあること
8. 必要な場所・施設が使いやすいこと
9. 活動に参加するための休暇などが取得できること
10. その他（具体的に： _____）
11. 特に必要なことはない

問19 地域活動に男女がともに[※]参画するために、1～11の中であなたが必要だと思う番号に○をつけてください。（○は3つまで）

1. 若い世代の人の意見を聞くなど誰でも参加しやすい雰囲気をつくる
2. 全員が発言し、全員で決定するなど会議の方法を工夫する
3. 会議などの開催時刻の配慮や会議の時間・回数の短縮を図る
4. 子どもを連れて会議などに参加できるようにする
5. 男女の役割の固定化（男性は草刈り、女性は炊き出しなど）をなくし、各自が得意分野で活躍できるようにする
6. 社会的地位や肩書きによる発言力の上下関係をなくす
7. 役員を輪番制にする
8. 副会長を複数にして、会長の負担を軽減する
9. 男性の会長を増やす
10. 女性の会長を増やす
11. その他（具体的に： _____）

※参画…集まりに計画の段階から責任をもって積極的に加わること

ドメスティック・バイオレンス（DV）についておたずねします

***ドメスティック・バイオレンス（DV）とは：**配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のことをいいます。「殴る」「蹴る」といった身体的暴力だけではなく、大声で怒鳴るなどの精神的暴力・生活費を渡さないなどの経済的暴力・性行為を強要するなどの性的暴力などもDVです。

問20 あなたは、これまでに、パートナー（配偶者や恋人など）から①～⑧のようなことをされたことがありますか。それぞれ1～3の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	何 度 も あ っ た	1, 2 度 あ っ た	ま っ た く な い
① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた	1	2	3
② あなたもしくはあなたの家族に危害をくわえられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3
④ 大声でどなられた	1	2	3
⑤ 何を言っても長時間無視し続けられた	1	2	3
⑥ 交友関係や電話・メールを細かく監視された	1	2	3
⑦ 「だれのおかげで、お前は食べられるんだ」などと、人格を傷つけられるようなことを言われた	1	2	3
⑧ 生活費を渡さないなど経済的な圧迫を受けた	1	2	3

①～⑧のうち、1つでも1または2と答えた方は、問21へお進みください。
また、すべて3と答えた方は問24へお進みください。

問21 あなたは問20の①～⑧のような行為を受けたことについて、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。

1. 相談した **問22へお進みください** 2. 相談しなかった **問23へお進みください**

問22 だれ(どこ)に相談しましたか。1～13の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 同じような経験をした女性や男性
4. 警察
5. 町の相談窓口・電話相談など
6. 福祉相談センター（配偶者暴力相談支援センター・女性相談支援センター）
7. 人権相談の窓口（法務局、人権擁護委員、民生児童委員など）
8. 女性相談の窓口（心と女性の相談室・男女共同参画センター）
9. 男性相談の窓口（男女共同参画センター（センター相談室・東部相談室・西部相談室））
10. 医師・カウンセラーなど
11. 学校関係者（教員・スクールカウンセラーなど）
12. 家庭裁判所・弁護士など
13. その他（具体的に： ）

回答後、問24へお進みください

問23 だれ（どこ）にも相談しなかった（できなかった）のはなぜですか。1～12の中から、あなたの考えに近い番号すべてに○をつけてください。

1. だれ（どこ）に相談してよいかわからなかったから
2. 相談する人がいなかったから、相談できるところがなかったから
3. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから、世間体が悪いと思ったから
4. 相談してもむだだと思ったから
5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
6. 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. 子どもに危害がおよぶと思ったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 相談するほどのことではないと思ったから
11. 今後されることはないと思ったから
12. その他（具体的に： _____）

問24 全員の方におたずねします。DV（配偶者や恋人など親密な関係にある相手からの暴力）を防止したり、なくしたりするためにどのような対策が必要だと思いませんか。1～10の中であなたが重要だと思う番号に○をつけてください。（○は3つまで）

1. 法律・制度の制定や見直しを行う（罰則の強化など）
2. 犯罪の取り締まりを強化する
3. 被害者のための相談窓口や関係施設の充実
4. 家庭や学校であらゆる暴力を防止するための教育の実施
5. 加害者へのカウンセリングや公正を促すプログラムの実施
6. 男性相談窓口の充実
7. 新聞、出版、放送などのマスメディアが倫理規定を強化する
8. 暴力を助長する恐れのある情報（過激な内容の雑誌やDVD、ゲームソフトなど）を取り締まる
9. あらゆる暴力を許さない社会づくりに向けた意識啓発やSNSなどを活用した広報活動
10. その他（具体的に： _____）

男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについておたずねします

問25 政治、行政における政策や、自治会、町内会においての企画や方針を決める場に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。1～9の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 男性優位の組織運営のため | 2. 家族の支援や協力が得られないため |
| 3. 性別による役割分担意識のため | 4. 制度や社会の仕組みが女性に不利であるため |
| 5. 家事、子育て、介護の負担が大きい | 6. 女性自身の積極性が十分ではないため |
| 7. 女性の登用を積極的に進めようとするひ | 8. 女性の能力発揮の機会が不十分であるため |
| とがないため | |
| 9. その他（具体的に： _____） | |

問26 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、町行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。1～13の中から重要だと思う番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 男女共同参画に関する情報提供や意識啓発のための学習会や講演会などの充実
2. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実させる
3. 職場における男女の均等な雇用機会や労働条件の整備について、事業所などに働きかける
4. 育児や介護を支援する施設やサービスの充実
5. 学校における男女平等教育の推進
6. 誰もが働きやすい職場をつくるための企業への啓発
7. 町の審議会などに女性を積極的に登用すること
8. 誰もが参画しやすい地域活動やボランティア活動の促進
9. 民間企業や地方公共団体などの管理職に女性の登用が進むように支援する
10. DVなどあらゆる暴力、ハラスメントの防止や根絶
11. [※]SOGI (ソジ) など多様な性に対する理解の促進
12. その他(具体的に:)
13. わからない

※SOGI (ソジ) …Sexual Orientation (セクシャル・オリエンテーション: 性的指向) …自分が好きになる性と Gender Identity (ジェンダー・アイデンティティ: 性自認) …自分が認識してる性の英語の頭文字をとった頭字語です。

最後に、あなたご自身のことについておたずねします

F1. あなたの性別をお答えください。

※性別について答えたくない、分からないなどの方は3を選択し、() 内に記入してください。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 女 性 | 2. 男 性 | 3. () |
|--------|--------|--------|

F2. あなたの年齢をお答えください。(令和6年10月1日現在)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 | 4. 50～59歳 |
| 5. 60～69歳 | 6. 70～79歳 | 7. 80歳以上 | |

F3. あなたは、現在結婚していますか。(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含みます)

1. 結婚している
(事実婚を含む)

2. 結婚していない 3. 結婚していたが離別・死別した

F4へお進みください

F5へお進みください

F 4. F 3で「1. 結婚している」と回答した方におたずねします。あなたの家庭での就労状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 自分も配偶者も働いている | 2. 自分だけ働いている |
| 3. 配偶者だけ働いている | 4. 自分も配偶者も働いていない |

F 5. 全員の方におたずねします。あなたのご家族の構成は次のどれにあたりますか。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. ひとり暮らし（単身世帯） | 2. 夫婦のみまたはパートナーと同居（一世代世帯） |
| 3. 親と子ども（二世帯世帯） | 4. 親と子どもと孫（三世帯世帯） |
| 5. その他（具体的に： | ） |

F 6. 全員の方におたずねします。あなたには一緒に暮らしている家族の中で次にあてはまる方がいらっしゃいますか。ただし、お子さんについては、あなたのお子さん（配偶者の連れ子を含む）についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 3歳未満の子ども | 2. 3歳以上小学校入学前の子ども |
| 3. 小学生 | 4. 中学生 |
| 5. 高校生以上の子ども | 6. 介護・介助を必要とする方 |
| 7. 1～6にあてはまる家族はいない | |

男女共同参画の推進について、家庭・地域・職場で日ごろから感じていること、また、岩美町の施策について望むことなどがありましたらご自由にご記入ください。

.....

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、記入もれなどがいないかお確かめのうえ、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに令和6年10月31日（木）までに投函していただきますようお願いいたします。